

淡交会報

第95号
2025

淡交会結成120周年記念号

居合道5段、京都市で観光ガイド
東 馨子さん（70回）インタビュー



君子之交淡若水
小人之交甘若醴

都立両国高等学校 淡 交 会

新会長に宇田川雅之さん（70回）

事務局長には國馬隆史さん（同）

総会報告

令和7年度の淡交会総会は7月12日（土）、61名の会員らが出席して、墨田区錦糸1丁目（JR錦糸町駅前）のすみだトリフォニーホール大ホールで、淡交会結成120周年記念「第九」特別演奏会の前に開かれました。

6年間会長を務めた大澤秀利氏（66回）が退任し、東邦航空株式会社代表取締役社長の宇田川雅之氏（70回）が新会長に、両国高等学校・附属中学校



就任挨拶する宇田川雅之新会長

の鳥屋尾史郎学校長が名誉会長に選任されました。また、副会長の塚本一夫（73回）、監事の佐藤良之（63回）、中込巡（66回）3氏が退任し、副会長に堀内勝彦（70回）、内田千晶（72回）両氏、監事に高杉政宏（70回）、目須田善英（同）両氏が選任されました。小川伸子副会長（66回）は留任しました。

なお、大澤会長の退任に伴って若菜一仁事務局長（66回）、岩岡勉事務局長（同）も退任し、後任の事務局長に國馬隆史氏（70回）、事務局次長に牧野忠雄氏（同）が選任されました。

（令和7年度淡交会役員名簿6頁に掲載）

これに先立ち、総会では令和6年度の事業報告、決算・監査報告、令和7年度の事業計画・予算案が承認されました。また、淡交会結成120周年記念事業募金・記念事業推進状況が報告され、淡交会の一般社団法人化に関する提案、評議員制度の運用改革案が了承されました。

一般社団法人化に関する提案は、①法人化のメリットとデメリットを勘案して、近い将来に一般社団法人化とする方向性を確認する②「遺贈」（法定相続人ではない相続）など多額の寄付金があった場合に備えて、法人化の準備として「定款」を作成する③その他、法人設立に必要な事項は会長に一任する——の3項目です。

また、評議員制度の運用改革案は、①評議員への定期的な働きかけを行う②評議員委嘱時（卒業生）に事務局長、組織委員長は面談を行い、意識付けを行う③「二十歳のつどい」を皮切りに若手の卒業生と淡交会との紐帯を結ぶ④メモリアル同期会等の同期の集まりに役員または事務局長が参加し、淡交会への協力を訴える⑤同期会幹事の方々に評議員制度を広報するとともに、会則に沿った人数での評議員体制を整備する（卒業後5年間は各クラス2名、その後卒業年度ごとに3名以内）——となっています。

最後に、母校管弦楽部の生徒約50人が同部顧問の田口智之先生（76回）の指揮でヨハン・シュトラウスⅡ世作曲の円舞曲「美しく青きドナウ」を演奏しました。

おもな記事

新旧会長ご挨拶	3
120周年記念「第九」演奏会	4
120周年記念懇親会	5
淡交会役員名簿、副会長ご挨拶	6
学校長ご挨拶	7
東馨子さんインタビュー	8
令和8年新年会ご案内	9
母校の部活	10
中3海外語学研修、校歌祭	11
ライフヒストリー部会の報告	12
環境委員会報告（その32）	13
両国祭展示報告	14
各回日より	15
サークル日より	16
会員の声	17
寄稿	19
120周年記念募金個人別明細	21
寄付金・募金等を頂いた方々	22
	23
	24
	25
	29
	30

表紙について

居合道5段で京都市の観光ガイドとして活躍中の東馨子さんにリモートインタビューしました。古希を迎えてなお週4〜5日の稽古を欠かさず、上の段位を目指しています。剣を振るう時は厳しい表情ですが、インタビューでは、旧校舎時代の両国高校は女子トイレが極端に少なく、トイレに行っても戻らなくて休み時間が終わってしまったというエピソードを笑顔で話してくれました。（写真は東さん提供）



淡交会会長就任にあたり

淡交会会長 宇田川雅之（70回）

淡交会の会員の皆様には、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り、深く御礼申し上げます。私はこの度、前任の大澤会長から会長職を引き継ぎました70回生の宇田川雅之と申します。よろしくお願い申し上げます。

した。誠にありがとうございます。記念特別演奏会では、日本を代表する指揮者である新田ユリ様（77回生）の指揮の下、淡交フィルハーモニー管弦楽団、淡交混声合唱団と有志の皆さまによるベートーヴェンの「第九」と「両国高校校歌五部作」の演奏は、多くの方に感動を与えました。これぞ伝統校の誇りです。記念演奏会を開催するにあたり、ご尽力いただいた多くの関係者の

皆さまにはあらためて心から感謝申し上げます。この記念すべき120周年という節目の年に淡交会会長という重責を担うことになり、身に余る光栄とともに、その責任の重さを痛感しております。旧役員の皆様は大変ご苦勞様でした。ありがとうございます。

私は現在、東京伊豆諸島間ヘリコプター定期路線「東京愛らんどシャトル」・各県防災ヘリ・ドクターヘリ・テレビ局報道ヘリ・山小屋物資輸送等を事業とする東邦航空株式会社の社長をしております。50年程の航空業界の経験が母校のために何か役立たないかと考えています。

状況にあることです。これらを克服するためには、淡交会の魅力を再発信し、新しい世代も参加したくなるような価値を創出する取り組みを進めます。通常業務としての会員名簿の管理と奨学金や学校行事支援などを通じて積極的に母校に貢献し、母校と社会への恩返しを具現化していきます。課題は山積しています。会員の皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。最後に、たいへん恐縮ですが、是非とも会費納入にご協力ください。引き続き、淡交会へのご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



淡交会の会長を振り返って

前淡交会会長 大澤 秀利（66回）

2019年に前任の寺澤会長から会長職を引き継ぎ、早いもので6年が過ぎ、この7月で、宇田川新会長に無事引き継ぐことができました。

した。

120周年は、2021年7月に、コロナの影響で、学校主催から淡交会に変更しての記念式典でしたが、淡交フィルの記念演奏、マスコットキャラクターの作成、グラランドピアノの寄贈など会員の皆様のご協力で無事事業を実施することができ、卒業生の団結力を改めて感じました。

しかしながら、何か物足りない、百周年の時の「第九」を歌ってみたい、などのお声も聴き、淡交会独自の記念式典がなかったこともあり、淡交会結成120周年の記念事業を行うこととし、本年7月のベートーヴェン「第九」の演奏会や、淡交会独自の沿革の整理などを進めて頂いてお

多くの方のご協力を頂いた、すみだトリフォニーホールでの「第九」演奏会は、多くの皆様にご来場いただき、たいへん感激いたしました。一方、卒業生の減少に伴う淡交会弱体化対策は、我々66回生執行部の経験不足、力不足で、直ぐに対応することができませんでした。両国高校創立120周年が一段落しましたので、2022年から淡交会強化の作業を進めることとしました。

これまでの淡交会は、事務局主体の運営でしたが、より多くの卒業生が淡交会の運営に関わり、強い淡交会になれるよう、検討委員会を作って頂いて、検討をお願いしました。その結果、常任理事会、理事会の改革と、それに伴う組織委員会他の委員会を整備し、多くの会員の皆様に淡交会の運営に直接関わって頂くこととなりました。まだまだ整備することは多々あり、積み残しを新役員の皆様にお願ひすることになってしまいい、たいへん恐縮しておりますが、会員の皆様の絶大なご支援ご協力をお願いし、退任の挨拶とさせていただきます。永年ご協力ありがとうございました。

会長引き継ぎ時の課題は、2021年の両国高校創立120周年・付属中学校創立15周年の準備対応、又、附属中学校設置に伴う卒業生の120人にまで減少という現実で

した。誠にありがとうございます。記念特別演奏会では、日本を代表する指揮者である新田ユリ様（77回生）の指揮の下、淡交フィルハーモニー管弦楽団、淡交混声合唱団と有志の皆さまによるベートーヴェンの「第九」と「両国高校校歌五部作」の演奏は、多くの方に感動を与えました。これぞ伝統校の誇りです。記念演奏会を開催するにあたり、ご尽力いただいた多くの関係者の

皆さまにはあらためて心から感謝申し上げます。この記念すべき120周年という節目の年に淡交会会長という重責を担うことになり、身に余る光栄とともに、その責任の重さを痛感しております。旧役員の皆様は大変ご苦勞様でした。ありがとうございます。

私は現在、東京伊豆諸島間ヘリコプター定期路線「東京愛らんどシャトル」・各県防災ヘリ・ドクターヘリ・テレビ局報道ヘリ・山小屋物資輸送等を事業とする東邦航空株式会社の社長をしております。50年程の航空業界の経験が母校のために何か役立たないかと考えています。

状況にあることです。これらを克服するためには、淡交会の魅力を再発信し、新しい世代も参加したくなるような価値を創出する取り組みを進めます。通常業務としての会員名簿の管理と奨学金や学校行事支援などを通じて積極的に母校に貢献し、母校と社会への恩返しを具現化していきます。課題は山積しています。会員の皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。最後に、たいへん恐縮ですが、是非とも会費納入にご協力ください。引き続き、淡交会へのご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ベートーヴェン「第九」演奏会 盛大に開催

淡交会結成120周年記念特別演奏会が7月12日(土)午後、墨田区錦糸1丁目のすみだトリフォニーホール大ホールで開かれ、卒業生会員や学校・後援会関係者ら約1300名が会場で感動を分かち合いました。

演奏は両国高校卒業生のオーケストラ「淡交フィルハーモニー管弦楽団」と淡交混声合唱団、指揮は新田ユリさん(77回)。合唱団は51回より122回(18歳より90歳)までの卒業生に団友を加え111人が舞台上に勢ぞろいしました。ソリストはソプラノ・川島玲子、アルト・上久保沙耶、テノール・鷹野景輔、バス・又吉秀樹さんです。

演奏会は早川正昭(49回)作曲「チェロ、ハープと管弦楽のための『牧歌』」で幕を開けました。早川さんは淡交フィルの生みの親の一人で、ハープを演奏するのは、早川さんの娘でNHK交響楽団ハープ奏者の早川りさ子さん。チェロ演奏は、早川正昭さんの隣でチェロを弾いていた同級生の故植草寛之助さん(49回)の娘の植草ひろみさんです。早川さんは昨年8月、90歳で逝去されています。

続いて両国高校校歌五部作(校歌、開校式の歌、三中健児の歌、あゝ黎明の歌、卒業

式の歌)が声高らかに披露されました。校歌五部作は明治35年より昭和15年にかけて、北原白秋作詞・山田耕筰作曲の「あゝ黎明の歌」を除き、いずれも府立三中の教師によって作詞・作曲された曲です。作曲家・指揮者の故鈴木行一さん(69回)がその1曲1曲にハーモニーを付け、管弦楽曲に編曲しました。当時の社会情勢を反映して、勇壮な歌詞と曲が多く、「三中健児ここにあり」の気概に溢れています。

最後はベートーヴェン作曲の「交響曲第9番 二短調 作品125『合唱』」です。淡交フィルの力強く素晴らしい演奏で第1楽章から第2楽章、第3楽章と盛り上がり、最終第4楽章では合唱が加わって最高潮に達しました。1000人を超える合唱団は迫力満点で、演奏後は「ブラボー!」の掛け声とともに拍手が鳴りやみませんでした。

なお、アンコールでは両国高校校歌が演奏され、会場の卒業生たちが合唱団と共に熱唱しました。

特別演奏会の模様はYouTubeでライブ配信され、約100名の方が視聴しました。

(写真は74回・牧野茂雄さん撮影、写真提供は120周年記念事業委員会歴史部会)



そば畑の庵 ながら長生庵

庵主 坂本 龍司 (55回)

自家栽培、自家製粉、自家製麺した香り高い蕎麦を枯れ節を使用したキレのあるつゆで満喫できます!

営業 11:00~19:00 千葉県長生郡長柄町山根2009-1 (秋元牧場の向かい側)
月曜定休 無料送迎バスあり 電話0475-35-0500

記念懇親会も賑やかに

120周年を祝う記念懇親会は「第九」特別演奏会の後、会員・学校関係者ら245名が参加して亀戸のアンフェリシオンで賑やかに開かれました。

江戸木遣りのメンバー入場で始まり、宇田川雅之新会長（70回）が挨拶。新旧会長や鳥屋野史郎学校長、小泉宗孝相談役（52回）、指揮者の新田ユリさん（77回）らが登壇して鏡開きを行った後、百目鬼健さん（73回）の乾杯の音頭で飲食・歓談に移りました。



ステージに勢ぞろいした江戸木遣りの方々



73回・百目鬼健さんの乾杯のご発声で開宴



挨拶する宇田川雅之会長(右)と人見元基さん(左)



アトラクションでは、「日本人離れた実力派シンガー」としてイギリスはじめ海外の評価も高いロック歌手の人見元基（73回、本名・人見典明）さんが拔群の歌唱を披露しました。人見さんは東京外語大在学中に早稲田大学理工学部軽音楽サークル「ロッククライミング」で音楽活動を展開。VOWVOWに参加して活動後、予備校教師を経て千葉県立松戸六実高校で英語教師として教鞭を執っていた異色の経歴の持ち主です。

最後に、参加者一同は新田ユリさんの指揮、岩崎結さん（104回）のピアノ伴奏で校歌を斉唱しました。なお、参加者一人一人に

「淡交会結成120周年」名入りの特製マグカップが記念品として配られました。（乾杯と人見さんの写真は74回・牧野茂雄さん撮影）



あの感動をもう一度！

「第九」演奏会DVD発売

特別演奏会を記録したDVDが好評発売中です。価格は送料消費税込みで、1枚1,000円と大変お求めやすくなっております。

払込用紙同封でお送りします。

購入申し込みは淡交PORTALからお願い致します。

もしくは、淡交会事務局宛てに葉書で送付先・住所・氏名・卒業回数・電話番号をお送り頂いても対応致します。

サンカーラ株式会社

代表取締役 小林繁樹（73回）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-6-5 丸彦ビル 3F
Tel: 03-3249-3421 Fax: 03-3249-3444

www.suncarla.co.jp



コンピュータセキュリティ
Since 1986

Email: sales@suncarla.co.jp





国際交流や探究活動を積極的に

校長 鳥屋尾 史郎

淡交会の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

7月12日にトリフォニーホール大ホールにて開催されました淡交会結成120周年の総会並びに特別演奏会は、大変な盛会となりました。とりわけ淡交フィルハーモニー管弦楽団と淡交混成合唱団による演奏は大変素晴らしいものでした。両国高校卒業生の皆様の力強さ、結束の固さ、文化芸術に対する理解の深さに心より感動し、この記念演奏を拝聴できましたことをまことに光栄に存じます。

◆ユタ州スタディツアー

さて、4月に本校に着任した私は両国の教育活動や生徒たちの学習活動を共に体験し、その質の高さと独自の取組の素晴らしさを日々実感しております。7月に実施されたアメリカ・ユタ州での中学3年生のスタディツアーinユタでは、引率責任者として生徒たちとともにユタ州に行きま

した。このスタディツアーは、ソルトレイクシティ近郊のプリハムヤング大学と連携し、現地のアメリカ人の家に生徒たちがホームステイをするという取組でした。アメリカにはいろんな地域がありますが、ソルトレイクシティ近郊は、全米でも有数の裕福な地域であり、また、アメリカの西部開拓の歴史をもつ地域であることから、ユタの人たちは、本校生徒にフロンティアスピリットについて熱心に伝えてくださいました。生徒たちのリスニング力やスピーキング力が大幅に向上することはもちろんのこと、生徒が自分のアイデンティティーの在り方を考える重要な機会となったように思いました。

◆中3卒業研究の中間発表

9月27日には中学1年生が総合的な学習の時間の発表を行いました。また、10月11日には中学3年生が卒業研究の中間発表を行いました。淡交会の皆様にもご来校いただき、生徒たちの発表の様子をご覧

いただいております。中学1年生の発表は、墨田区の地域学習を中心とした調べ学習の発表であり、地域の施設や職業、そこから考察できる課題や未来について発表するものでした。本校生徒の多くは、墨田区を中心とした城東地域（江東区、葛飾区、江戸川区など）の下町から通学しているため、地域学習を小学校で既に経験している生徒もいますが、中学生になって新たな視点でグループで共同発表を行うということ、仲間と助け合いながら高い学習効果を上げていく学習スタイルの基礎基本の習得に役立っているように感じられました。

中学3年生の卒業研究中間発表では、生徒それぞれが自分の研究テーマを考え、そのことについて調べ学習を行った後に、最終的な論文作成に向けて、どのように研究にまとめしていくか考察する発表でした。生徒の研究する分野、ジャンルは多岐にわたり、墨田区を中心とした地域研究から、世界的な視野にまで広げた課題

をテーマにしたもの、コンピュータや情報に関わる内容をテーマにしたもの、科学的な内容をテーマにしたものなど、様々な研究テーマが並びました。両国生のもつ興味関心が、社会科学から人文科学、自然科学に至るまで幅広く進んでいることをとても頼もしく思うことができました。

◆総合的な探究の中間発表

高校1年生と高校2年生の総合的な探究の中間発表は11月6日に実施します。中学1年生から続けてきた課題研究が、高校2年生でどのような集大成に至るか、今から興味が尽きません。こうした課題研究や探究活動は、今回と次の学習指導要領のとても大きなテーマです。学校は、教科を超えた生徒の興味関心を引き出しながら、より高いレベルに生徒たちを挑戦させることに大きな意味があると考えられています。本校でこうした課題研究、探究活動を積極的に行うことで、より優秀でこれからの社会を担うことができる若者を育てることができると確信しています。

◆カンボジアへもツアー

本校はさらに国際交流の取り組みとして、12月に高校2年生のスタディツアーinカ

ンボジアを実施いたします。今年度は希望者対象ですが、来年度は第125期生全員を対象として実施する計画を進めております。アメリカ・ユタで培った国際的な視野とはまた別の視点から、生徒たちには世界を見てもらいたいと考えています。

こうした探究活動や国際理解教育は、毎日の教科の学習の確かな積み重ねの上に行うことで、より高い効果を上げることができると確信しております。本校の教育が授業を大切にし、より高いレベルの教科の学習を行っているからこそ、他校の追従を許さない、より高度な内容に挑戦できるようになっています。そして、これからの時期は、高校3年生が進路実現を図っていく重要な時期となります。教科指導、探究活動、国際理解教育を通して、生徒たちが学力をしっかりと身に付け、自らの希望する進路を達成してくれるものと期待しております。

淡交会の皆様には、引き続き生徒たちの発表の場にはぜひともご参加いただき、ご指導をいただければ幸いです。今後とも淡交会の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



令和8年「淡交会新年会」のご案内



令和8年の淡交会新年会を下記の通り開催致します。同窓・同期の皆さまとお誘い合わせの上ご参加願えれば幸いです。（幹事は73回卒業生の皆さんです）

Webの淡交PORTALにも案内をアップしております。

- ◎日 時 令和8年2月15日（日） 午後4時開会 午後3時30分受付開始
 ◎会 場 アンフェリシオン 東京都江東区亀戸1-43-22 TEL03-5836-5111
 ◎会 費 7,000円 但し学生の方は3,000円

入金〆切：令和8年1月20日（金） 払込取扱票を使用しての納入をお願い致します。

懇親会当日欠席の場合、会費は返還致しませんので予めご了承ください。

◎プログラム ①新年会挨拶

②講演：佐藤 嘉倫氏 73回卒

京都先端科学大学人文学部教授・学部長

演題 「AIを備えたロボットは家族の一員になれるか？」

経歴

1957年 東京都江東区生まれ

1976年 都立両国高等学校卒業

1982年 東京大学文学部卒業

1987年 東京大学大学院社会学研究科単位取得退学

1987年 横浜市立大学商学部講師、1988年助教授

1992年 東北大学文学部助教授

1992年 シカゴ大学社会学部客員教授

1997年 東北大学より博士号（文学）を授与される

2000年 コーネル大学社会学部客員研究員

2002年 東北大学大学院文学研究科教授・副研究科長を経て、現在は、京都先端科学大学
人文学部教授・学部長および日本学術振興会学術システム研究センター副所長

③懇親会：ビュフェスタイルでお食事と飲み物をご提供する予定です。

アトラクション及びお楽しみ抽選会があります。

- ◎留意事項 1. 当日欠席の場合返金できません。
 2. 入場するに当たり手指の消毒にご協力をお願い致します。



淡交PORTAL

令和8年度淡交会総会及び懇親会のお知らせ（予定）

- 日 時 令和8年7月26日（日）午後4時開会 午後3時受付開始
 場 所 アンフェリシオン
 担 当 74回の卒業生の皆さんです。
 事務局より小口淑美氏（74回F・旧姓惣佐）に、まとめ役を依頼しました。
 受付などをボランティアで協力いただける方は事務局までご連絡ください。
 <連絡先（事務局）> ☎03-6284-0801 E-mail:tankouhp@bz04.plala.or.jp
 なお、当日懇親会後には幹事回である74回のミニ同期会を開催します。

母校の部活

水泳部

高校3年 長坂 春木

私たち水泳部は中高合同で、校舎2階から渡り廊下を渡ったところにあるプールで活動を行っています。毎週火、水、金、土曜日に練習をしています。屋外プールであるため、夏季はプールにて水中練習を、秋、冬には筋トレやランニング等を行い体を鍛えています。先輩後輩問わずとても仲が良く、楽しくやっています。最近では多少の緊張感も出てきて、みんなきつい練習でも努力をしているのでとても良い雰囲気や環境が整ってきています。夏休み中には午前午後の2部練を行い、数回OB、OGの先輩方をお招きして指導していただいています。

部員は自分の掲げる目標達成や自己ベスト更新を目指して日々練習を行っています。本年度は多くの部員が六学区大会に出場し、入賞する選手もいて、とても良い成績を残すことができました。また、レベルの高い東京都高校選手権にも複数名出場することができ、決勝で7位入賞、関東大会出場という結果を残すことができました。

水泳は自分との戦いが多いスポーツです。個々に自分を研究したり、努力することはもちろん大切ですが、やはり一人では行うことができないことだと思っています。きつい日々の練習を楽しく乗り越えられるのは仲間あつてのものです。今後とも後輩たちには楽しく頑張ってもらいたいと思います。

弓道部

高校3年 牧野 修典

私たち高校弓道部は、体育館棟わきの弓道場で、毎週月曜日、水曜日、金または土曜日に活動しています。顧問の鶴沼先生、田中先生、山本先生のもと、高校二年生5人、高校一年生10人で活動しています。また、秋から中学三年生の入部も始まり、すでに10人以上増え、部員の増加が著しいです。現在、高校生は自分の練習の傍ら、中学生の指

導を行っています。弓道の基礎は習得が難しく、時間もかかるので、OBや顧問の先生方とともに、効果的な指導を心がけています。

また、今年度は、コロナウイルスや部員不足により中断していた夏合宿を、長野県の菅平にて、東京都立忍岡高校と合同で行いました。普段よりも広い射場で、長い時間練習に励むことができたうえに、部内でチームを組んで競い合うなど、緊張感のあるメニューのおかげで、どの部員も大幅に成長できました。また、合宿の最後には忍岡高校と交流射会を開き、両国が優勝し、しっかりと合宿の成果を発揮できました。

そして、合宿練習の甲斐もあり、公式大会でも結果を残すことができました。夏の東京都個人選手権大会では、男子が13位に入賞し、関東大会に進むことができました。さ

らに、秋季大会でも、男子団体、女子個人で二次予選に進出することができました。これからも、後輩への技術の継承に尽力したいと思います。

物理部

高校3年 宮川 悠輝

何をしているか分からないとよく言われる物理部です。毎週水曜と土曜授業日に物理実験室に集まって、物理や数学の難問を持ち寄って解いたり、各自黙々と自習に励んだりしている、結局何をしているかわからない部活です。

文化祭ではピタゴラススイッチ企画が恒例で、毎年ガウス加速器に助けられています。今年度の文化祭は部員の人員不足が露呈しそうになるほど多くの方にお越しいただき、部員一同嬉しい悲鳴を上げておりました。課外活動もあり、十月には東京大学柏キャンパスを訪問し、研究施設を見学

したり、研究発表を聴いたりしました。

ところで、「物理チャレンジ」をご存知ですか？ 物理オリンピック日本委員会が主催する、中高生が物理学の能力を競う全国大会であり「国際物理オリンピック」の予選を兼ねています。「第一チャレンジ」で上位一〇〇位の成績を修めると「第二チャレンジ」という合宿の参加資格が得られ、倍率は十五倍に及びます。今回、部員二人が第二チャレンジに進出し、うち一人は第二チャレンジで極めて優秀な成績を修めて銅賞に輝きました。

管弦楽部にDVD贈呈

7月12日に開催された淡交会総会での管弦楽部演奏「美しき青きドナウ」を収めたDVDを、10月21日に管弦楽部員全員分を部長の高橋みなもさん（高2）に淡交会事務局より贈呈しました（写真）。

附属中3年生、米ユタ州スタディツアー

今年の附属中3年生のStudy Tour in Utahは7月19日(土)から28日(月)までの10日間で実施しました。折からの航空機需要の高まりのため、4便に分かれての出発となりましたが、それは前日に錦糸町で別れた生徒たちが、ロサンゼルス、デンバー、サ

ンフランシスコ、シアトルへ飛び立ち、その後、ソルトレイクシティで再会するという壮大な旅でした。日中、生徒たちはBYU(ブリガム・ヤング・ユニバーシティ)という現地の大学でESLという専門的な講義を受講します。ESLはEnglish as a Second Languageの略で、主に英語圏に住む英語を母語としない人たちのための英語教育プログラムです。移民の多いアメリカでは、こうした実践的な教育プログラムが広く普及しています。



BYU校内で記念撮影

実はEFL(English as a Foreign Language)という似たプログラムもあるのですが、こちらは英語圏以外に住む人に英語を教えるためのプログラムです。つまりEFLが英語を母語としない人に英語の語彙や文法を中心に教える初心者向けプログラムであるのに対し、ESLはある程度英語が話せる人に対して、実

際に使える英語を習得させることを目的としています。

本校はこのうちESLを選択し、生きた英語力を身に付けさせることを目指しています。このプログラムは10名1グループの少人数に分けて実施されるのですが、各グループに一人「カウンセラー」と呼ばれる指導員が付きま

す。彼らはBYUに通う、教育に関心のある学生たち(または、通っていたOB/OG)です。生徒10名につき一人のチューターが指導してくれる賛助な布陣です。

大学での講義が終わると、生徒たちはそれぞれのホームステイ先へと帰ります。こちらでも生徒一人に対して一家庭があてがわれます。ですから生徒たちは滞在中、ずっと英語のみでコミュニケーションをとらねばなりません。最初

は不安がっていた生徒たちでしたが、終わってみれば皆一様にこのホームステイの体験がどんなにかけがえのないものであったかを語っていました。生徒たちの感想の中からいくつかを紹介してこの記事を

を終わりたいと思います。
・文法が間違っていたても、伝えようという気持ちがあれば必ず伝わるし、むしろそれが大切だと分かった。

・私のホストファミリーはい

ろいろなところに連れ出してくれたが、一番楽しかったのはコミュニケーションを取り合えて共感できた瞬間だった。別れ際はとても悲しくて涙が止まらなかった。
・一週間というこんなに短い期間でここまでホストファミリーと仲良くなると思っ



校歌祭で歌う両国高校一同

いなかった。最後の日にはどうやったら滞在時間を延長できるかなど冗談半分でも話したくらいだ。もう日本に帰ってきたけれど、まだ連絡を取り合っている。家族が一つ増えた。この夏の、人生の大切な思い出になった。

第33回東京校歌祭開催

10月26日に杉並公会堂で第33回東京校歌祭が開催された。両国高校は、指揮を北原徹さん(89回)、ピアノ伴奏を岩崎結さん(104回)にお願いして合唱した。参加募集は今年からGoogleフォームで募集したが不評であった。にもかかわらず、参加者は例年通りで35名でした。

参加21校が、それぞれの校歌と母校関連の歌を老若男女が趣向を凝らして合唱した。今年から、合唱後直ちに解散せず最後まで他校の合唱を静聴した。参加者同士の交流に加えて、他校との情報交流や交流もすることができた。

校歌祭の終了後には恒例の「反省会」をJR荻窪駅前の居酒屋で開き、大いに盛り上がった。

来年の第34回校歌祭は、令和8年10月18日(日)に杉並公会堂で行なわれます。

～ご葬儀のことなら、すべてお任せ下さい～

カルチャーパビリオン

平安祭典

☎ 03 (3633) 3357

24時間受付
年中無休



営業のご案内

- 仏式・神式・キリスト教式
友人葬・自由葬・各宗派
- お通夜 ●ご葬儀・告別式
 - 社葬・団体葬 ●個人葬
 - ご法要 ●生花・花環 ●灯籠
 - 病院からのご遺体移送
 - ご遺体おあずかり
 - 貸衣裳 ●仕出し
 - 仏壇仏具 ●墓地墓石

フォト：平安祭典深川会館



品質保証の
国際規格
ウェルライフグループ

『ISO 9001』

品質マネジメントシステム登録

株式会社 日冠
株式会社 日本サービスセンター
株式会社 ウェルサプライ



平安祭典

施設のご案内

カルチャーパビリオン 平安祭典 深川会館	江東区森下5-9-5	☎ 03 (3635) 2241
カルチャーパビリオン 平安 北砂	江東区北砂5-16-16	☎ 03 (3647) 8551
カルチャーパビリオン 平安 南砂	江東区南砂4-3-9	☎ 03 (5633) 6111
カルチャーパビリオン 平安 豊洲・枝川	江東区枝川1-2-4	☎ 03 (6666) 0017
ウェルライフホール 亀戸	江東区亀戸2-17-7	☎ 03 (3682) 3263
ウェルライフホール 平安祭典 銀座・築地	中央区築地4-4-16	☎ 03 (3541) 0110
カルチャーパビリオン 平安祭典 葛西会館	江戸川区東葛西8-3-12	☎ 03 (3804) 4741
カルチャーパビリオン 平安 篠崎	江戸川区篠崎町3-11-2	☎ 03 (3698) 4194
カルチャーパビリオン 平安 小岩	江戸川区北小岩1-1-1	☎ 03 (3650) 4518
カルチャーパビリオン 平安祭典 高円寺会館	杉並区高円寺北2-1-7	☎ 03 (3339) 1101
ウェルライフホール 平安祭典 練馬	練馬区北町5-18-15	☎ 03 (3559) 3303
カルチャーパビリオン 平安 世田谷	世田谷区船橋6-1-5	☎ 03 (3303) 4100
カルチャーパビリオン 平安 立花	墨田区立花5-8-4	☎ 03 (5630) 2230
ウェルライフホール 平安祭典 行徳・相之川	市川市相之川2-6-14	☎ 047 (390) 4011

第52期卒業 会長 小泉宗孝

「自分史」を語り聴く

ライフヒストリー部会の活動

淡交会アカデミア委員会の
ライフヒストリー部会は、2
020年12月から毎月1回、
亀戸文化センター等を会場に

「ライフヒストリーを語り聴く会」を開いている。時間は
13時半～16時半。適宜質疑応
答を交えて行った後、自由参
加の懇親会で盛り上がる。第
1回は前会長の大澤秀利さん
(66回)。2026年1月の
第45回では、還暦の81年生、
桜美林大学附属高校副校長等
を勤めた高橋賢一さんが「自
分史」を語る。

多彩な顔触れが登場

話の内容は次の8項目。①
両国高校入学まで②両国高校
での生活③進路選択④大学等
での生活⑤職業生活等⑥現在
の課題⑦今後に向けた抱負⑧
在校生へのメッセージ。

年に一度、「中間まとめ」
の会を開き、次の方針につい
て意見交換する。これまで54
～104回生にわたる広い年
齢層、小売、製薬、アパレル、
商社、建設、ホテル、生保、
銀行、旅行、テレビ、新聞、
音響、IT、航空業、弁護士、
裁判官、医師、歯科医師、音

楽家、書道家、教育産業、教
員、公務員など多彩な人たち
に話を聴いてきた。

モヤモヤを吐き出す

「話せて気持ちよかった」
「聴いてもらってスッキリし
た」と、報告者は皆言う。モ
ヤモヤを話し、聴いてもらい、
質問、意見交換で、気持ちが
軽くなる。寄り添ってくれる
雰囲気の中で、病氣、障がい、
複雑な家族関係などについて
「つい話してしまった」。先
祖の話、親の恩、学校時代の
クラブ、文化祭、授業、影響
を受けた先生や友人、先輩後
輩関係、その後の様々な生活
経験など、思い出しながら、
自分の人生を意味付けし直す
機会になる。

異なる人生を聴ける

自分の人生は一度だが、自
分とは異なる、たくさんの人
生をこの場では聴ける。クラ
ブ、文化祭、授業などの高校
体験も、家庭環境、職業も多
種多様で、人生の挫折、転機、
飛躍もそれぞれである。「へ
え、そんな人生もあったのか」
「そんな職業もあるんだね」
と、視野・世界が広がる。

自分の人生を相対化

同時に、同じ地域で育ち同
じ学校で学んだという共通基
盤がある。空襲、経済的に豊
かではなかった地域・家庭、面
白い授業、共通の先生などで
共感が生まれる。人生の試練
の越え方や、人生を通じて自
分を支えた音楽やスポーツ、
親や先生の教えを聴いて、自
分の場合との重なり合いを見
出しもする。そして、話す人
も聴く人も、自分の人生を相
対化し、今後の人生の課題や
目標を確認したりもする。

会員同士の親睦深める

淡交会は「親睦」が会の目
的とある。親しかった仲間や
初対面の同窓生との会食・談
笑は、親睦の大事な要素であ
る。同時に、この「ライフヒ
ストリーを語り聴く会」の活
動も、「親睦を深める」役割
を果たしていると思う。

現役生にメッセージ

話の最後に、毎回述べる現
役生へのメッセージ。「打ち
込めるものを見つける」「広
くいろんなものにチャレンジ
する」「一生付き合える仲間
ができる」「授業で培う質の
高い基礎教養を大事に」など
が多い。今それらを現役生へ
のメッセージ集としてまとめ
つつある。また、自分史集を
eBookで作ること、話の
シリーズ化を検討中。今後に

については淡交PORTALを
見て下さい。

淡交会アカデミア委員長、
ライフヒストリー部会長
笹川 孝一 66回

淡交会後援会の総会開催

10月23日、亀戸のアンフェ
リシオンにて、淡交会後援会
「Friends of Tankou」総
会が開催された。小泉後援会
会長以下、淡交会新役員など
14名が参加して、母校と淡交
会への支援を誓った。

この会は、1988年に当
時の淡交会会長・坪井 東氏
(30回)のもとで発足し、淡
交会の活動を物心両面からサ
ポートすることを目的として
活動している。



(保険調剤)

タンシ薬局

保険薬在庫数 一般処方薬 1384品目
ツムラエキス剤 118品目
生薬 130品目

煎じ薬の調剤及び代理煎じを致します。

所在地 千代田区飯田橋4-4-6 SJビル1階
飯田橋駅(JR)東口・西口より徒歩3分

T E L 03(5215)1502

F A X 03(5215)1909

開局時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～17:30

有限会社 淡志

代表取締役 荒井秀夫 (52回)

植木の土の捨て方から考える 生物多様性保全

環境委員会報告（その32）

皆さんは生物多様性という言葉を知っていますか？この言葉は、英語のBiodiversityを日本語に訳したもので、この30年ほどで急速に普及してきました。その大きな契機の一つが、1992年のリオ地球サミットです。このとき、地球規模での生物多様性保全を目指して生物多様性条約（The Convention on Biological Diversity、CBD）が採択されました。政治や市民活動の場での存在感を増していき、肌感覚ですが、この10年ほどで、ニュースや地方政策など、身近なところで目にする機会もぐっと増えたように思います。

生物多様性条約では、生物多様性とは「すべての生物の間の変異性」であり、種内、種間、生態系の多様性を含む、としています。例えば、同じ種でも遺伝的に少しずつ異なります。生態系の中には数多くの種や亜種が存在し、直接的・間接的に関係しています。そして生物により構成される生態系もまた、多種多様なタイプが存在し、そのタイプの中でさえ、構成は少しずつ異なります。

生物多様性は、地形や気候、生物の生態などに応じて、何

億年もの時間の中で形作られたものです。古代から現代まで、人はこの生物多様性の恵みを利用して生きてきました。例えば、医療で用いる薬のうち、半分以上の化合物が生物に由来を持つものです。多種多様な文化の基盤でもある生物多様性を保全するということは、未来世代に豊かな選択肢や可能性を受け継ぐことにつながります。

しかし、生物多様性は人間活動により危機に瀕しています。これを回避するために、社会経済に生物多様性保全や持続可能な利用の重要性が十分に浸透し、国や事業者、国民まであらゆる主体が行動に反映する、「生物多様性の主流化」の動きが国内外で強まっています。生物多様性の損失は依然として続いています。これをどうにか回復に反転させる、ネイチャーポジティブと呼ばれる考え方が、いま、深く根付きつつあります。

植木の土、どう捨てる

生物多様性保全に関連して、問題になっていることのひとつに、使用済み園芸土の投棄があります（写真）。河川敷や公園などの緑地を歩くと、植木や土が捨てられている様



子をとてよく目にします。園芸植物がそのまま根付いていることも頻繁に見られます。こうした土の投棄には、保全上、外来種の問題があります。外来種とは、人為的に自然分布域外に移動したものを指します。例えば、密放流により分布を広げたオオクチバス（ブラックバス）や、資材に紛れて西日本から関東に広がったヌマガエルがあります。使用した土には、様々な土壌動物や、植物の種や根が含まれています。不法投棄自体も問題ですが、そこに生息しえなかったはずの動植物が入り込んでしまうことで、その場所の生態系を歪めてしまう危険があります。さらに、捨てられた土により、土壌養分、水はけなど、その場所の土壌特性が変化することによって、もともと生息していた生物（在来種）が住みにくい環境になることもあります。

こうした悪影響は、国の生物多様性国家戦略で整理された、生物多様性の4つの危機のうち、第3の危機「人間により持ち込まれたものによる危機」に分類されるでしょう。これは外来種の侵入や化学物質による汚染など、人が生活を通して持ち込んだものによる生物多様性への負の影響です。しかし、使わなくなった土をどう処分するか、そのことに頭を悩ませた経験がある方は多いのではないかと思います。それもその筈で、多くの自治体では、土はゴミ回収の対象としていません。これまでは、もう使うことがなくなった土は、自宅の庭に撒いたり、袋で保管したりするしかありませんでした。ですが不法投棄や、土の処分に困った市民の声の影響か、ここ数年で、回収を始めた自治体や業者が増えてきています。例えば、今年の4月から園芸土の回収を始めた三鷹市では、回収開始後、4か月で早くも2トン以上の園芸土が集まったとのこと。

大手ホームセンターと連携した土の回収を行う自治体も出てきています。回収土は滅菌処理などをしたのち、園芸土などに再利用されます。江東5区（江東、墨田、足立、葛飾、江戸川）では、足立区と江東区、江戸川区（外郭団体と連携）が回収を行っています。しかし、持ち込める場所や機会がそれほど多くないほか、区民への周知もまだまだ弱いという印象です。限られた資源でもある土をできる限り再生して利用するためにも、回収の取組がさらに進むことを期待しています。

環境委員
芦田 星（114回）

不動産管理

サンネックス株式会社
千倉 嘉一（60回）

〒134-0091 江戸川区船堀2-23-13
TEL 03-3869-1111 FAX 03-3869-1133

両国祭「東京大空襲と三中」

特別展「両国高校生物部の歩み」併設

9月6、7日、両国祭が行われ、多数の来場者で活気あふれる2日間でした。しかし、前日の5日は台風のため雨で、また、エレベーターが工事のため5階まで階段での荷物運びがあり、終了後の撤収等も含め委員の皆さんのご協力に感謝いたします。

資料室委員会は「東京大空襲と三中」をテーマに展示を行い、特別展として「両国高校生物部の歩み」併設しました。



大空襲の展示を見る来場者

東京大空襲時の三中の校舎の写真及びオーラルヒストリー（淡交会の先輩方の当時のお話を文章化）の展示には、じっと考えている方や委員の解説に大きくうなずいている方もいました。二度とこのような戦争を起こさないためにも、戦争の悲惨さを風化させてはならないと思いました。また、オーラルヒストリーを4月23日取材した藤原誠文さん（44回）も5階まで歩いてご来場いただいたのは大変な感謝でした。



「生物部の歩み」を見る来場者

した。この活動をして良かったと思います。

生物部の歩みの展示では、夏合宿や登山、本年は水元公園での自然観察会を行った写真などを止めている方も多かった。生物部で自費出版した「かぶとむし」「かぶとむし補遺版」も展示しました。作家の領家高子さん（71回）も来場され、生物部の方々と記念写真を撮影などもありました。人と人との輪が広がるチャンスになったと思いました。生物部のOB佐藤昌信さん（73回）に準備・展示物の説明等でお手伝い頂き感謝しております。「かぶとむしクイ

ズ」を作成し、消しゴム等のノベルティに156名の方に喜んでいただきました。

資料室の段ボールの中にあつた昭和2年当時の学生オーバークートも展示しました。また、淡交会120周年記念マグカップと80周年記念のループタイの展示販売も行いました。

最後に、今回のイベントにご協力いただいた方々に感謝いたします。

△両国祭資料室委員会メンバー▽

斉藤正行（67回）、土切隆次（68回）、神尾正利（68回）、金林和裕（71回）、飯島眞樹子（79回）

資料室委員長 神尾 正利

環境委員会「それぞれのSDGs」

まずは環境委員会の展示会場にご来場戴きました皆さんに厚く御礼を申し上げます。両国祭両日に実施させて頂いたアンケートには、在校生22人を含む合計82人（6日16人、7日66人）の方々に応じて戴きました。42人の方は中学入試の下見を目的にご家族連れで来校されたので実際に会場に来られた総数は、もっと多くなります。有難う御座居ました。また、当委員会の9人の委員が、それぞれが抱えている

的拘束力を持つ国際プラスチック条約の締結に向けた世界の動向」

2. 磯貝三男（56回）「自分で備える自然災害の時の避難先えらび」

3. 児井正臣（60回）「再生可能エネルギーをもっと使おう」

4. 伊藤林（62回）「雨水貯めれば資源、流せば洪水」「両国地区の貯水量」「手作り雨水タンクの作り方」

5. 近藤和廣（62回）「脱炭素化・カーボンニュートラルはどうなっているのか？（アメリカのパリ協定離脱の影響）」

6. 細谷和海（67回）「メダカを守る！」

7. 一澤成典（69回）「柴又新八水路における魚類調査」（最新版）

8. 清田秀雄（74回）「下町の植物目録（1923、1970、1981）」

9. 芦田星（114回）「中山間の田んぼで沢山の生き物を育む米づくり」

尚、SDGsの典型的な例として、直前の8月5日に、伊藤委員が永年活動してきた「雨水市民の会」が、その国内外の活動実績に対し、国交大臣から令和7年度水源功績者表彰を受賞したことを提言の中でご報告致しました。

委員会としての提言、各委員のテーマは次の通りです。
委員会提言テーマ「それぞれのSDGs」
各委員テーマ（敬称略）
1. 中村晴永（55回）「法

環境委員長 磯貝 三男

内科・外科・透析
医) 弘 愈 会
ひまわりクリニック



〒299-0111 千葉県市原市姉崎 2 5 6 1
電話 0436-60-1600 ファックス 0436-60-1601
Eメール himawari_cl@silver.plala.or.jp



小林弘忠院長 第61回卒業バレー部
医学博士、千葉大学医学部臨床教授
外科専門医、透析専門医 など

1936年に竣工した旧千葉大学医学部附属病院は、東洋一と称された偉容を誇る大病院です。合理的で、基礎、外装、内装、階段、床、ステンドグラスetc. 全てに潤沢な資金を投じた、素晴らしい建造物です。爾来、一世紀近い間、患者さんに貢献するだけでなく、学舎としても、多くの同窓生の心をつにつにしてくれた歴史的建築物です。



ひまわりクリニック正面全景



透析スタッフ

●福祉機器の販売とレンタル ●高齢者障害者用住宅リフォーム
●ケアプラン作成 ●訪問看護サービス



あっぷる

江東店 ☎ 03-3636-1199(代)
〒136-0071 江東区亀戸1-43-9 コープ野村1F



あっぷる デイサービス

☎ 03-3636-1206

〒136-0071 江東区亀戸1-33-5 シテセレスト1F

●亀戸駅より徒歩8分●
■ご利用時間■ 月曜日～金曜日
午前9時30分～午後3時45分

第52期卒業 会長 小泉宗孝

寄稿

江沢洋先生の軌跡

小島 昌夫 40回

日本を代表する理論物理学者で、学習院大学名誉教授。東京大学で理学博士号を取得後、フルブライト研究員として米独に留学。1967年から学習院大学で教鞭を執り、1970年に教授就任。専門は理論物理学で、素粒子物理学や量子力学分野で優れた業績を残した。教育者としても卓越しており、『だれが原子をみたか』でサンケイ児童出版文化賞を受賞。多数の物理学教科書や啓蒙書を執筆し、日本の物理学教育に大きく貢献した。

両国高校在学中(48回)は、英語の杉安太郎教諭から多大な影響を受け、杉教諭は退職のおりにもっとも印象深い生徒だったと述べた。1960年から8年間は両国高校定時制教師の小島昌夫と野上教科書の執筆をともにした。2011年に瑞宝中綬章を受章。23年に91歳で逝去まで現役物理学者として活動続けた。

校歌「御をしへ」をめぐって

寺澤 捷年 60回

昨秋に傘寿を迎えた私だが、

フェイスブックで世間と繋がっている。その友人の一人に72

回卒の内田千晶さんがいる。昨年私は著作に専念していたので、約半年間はフェイスブックを見ることも無かったが、久しぶりに内田さんの投稿を見ると、最近では「淡交会結成120周年記念事業委員長」の大役を果たされたこと、また母校の合唱コンクールの審査員を務めたことや、淡交会新年会幹事についての投稿があった。そこで彼の過去の投稿をサラリと見ていたところ、校歌に「明け暮れの みをしへに 文の山 分けて入り」とあるが、高校時代から勝手に「御教え」だと思っていたが、なんで「みおしえ」ではなくて「みをしへ」なのだろうという疑問が投稿されていた。

校歌について私は2004年の淡交会報(53号)に、作者の吉丸一昌先生が源実朝の金槐和歌集の歌「山はさけ海はあせなむ世なりとも君にふた心わがあらめやも」を本歌取りしたものであると寄稿させて頂いており、校歌については深い思い入れがある。しかし、「みをしへ」について

では注意を払っていなかった。内田さんの疑問にはビックリすると共に何とか明らかにせねばと思った。「を」はwoであり、格助詞として用いるのが現代では一般的で、名詞で「を」を用いる事はほとんどない。ところが古文では例えば百人一首で有名な小倉山は「をぐらやま」と記され、女郎花は「をみなへし」である。このことは古今和歌集に「小倉山峰たちならし鳴く鹿の経にけむ秋を知る人ぞなき」に示されている。この歌は「をみなへし」の折句(傍線)の手法で作られた一首であるが、小倉山を「をぐらやま」と詠まないと折句にならない。この他に男は「を」とこで「をとめ」と対句。古語辞典(岩波書店)には「をしへ」はあるが「おしへ」は無い。つまり古語では「教へ」の訓読が「をしへ」なのである。

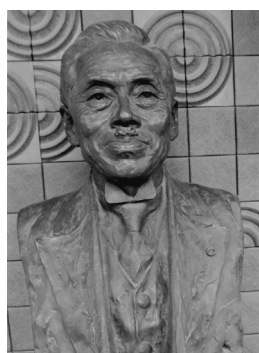
『両国高校百年誌』には校歌(1904年制定)が時代によって、その表記が微妙に異なることが示されているが、校歌制定7年後の『学友会雑誌』(拾周年記念号)には「あけくれの 御をしへに」となっている。これが恐らく吉丸一昌先生の作られた最初の歌詞に最も忠実なものであろう。

結論としては、内田さんが「御をしへ」を「御教え」と考えたことは誤りではない。しかし、「をしへ」は「おしえ」の古語であることを知っておく必要がある。吉丸一昌先生の作詞は文化遺産そのものである。それを先の大戦に敗れたことにより改変を加えたのが現在の校歌である。せめて淡交会の席では、現在の校歌と併せて原作が唱和されて良いと私は考えている。それが校歌という芸術作品とその作者への礼儀というものである。

八田初代校長の銅像写真

吉田 隆 61回

母校初代校長である八田三喜氏の銅像写真を、このほど淡交会資料室に飾ることが出来た。2011年7月、母校創立110周年記念式典が江戸川区総合文化センターで開かれた際、元淡交会事務局長の故安達義明氏(41回)から私に託された願いで、神尾正利資料室委員長(68回)の了解を得てやっと叶ったものだ。



TAKEFU ショップ 両国サイト

抗菌・消臭・癒し・肌に優しい奇跡の繊維「竹布」

特別価格をご用意して皆様のおいでをお待ちしております

丸山佐紀子(59 回 旧姓石黒)

墨田区両国 2-19-1 両国ビューホテル 1 階 ☎ 03-6284-0571 来店の際は両国高等学校 OB と言ってお願ひします





故小島基男さん

八田初代校長の銅像は、金融界・実業界で活躍し昨年新一万円札の顔となった渋沢栄一氏の銅像と同じ名彫刻家の作で、私は八田校長が渋沢氏と同レベルの人物であったことを同窓生に知ってほしいと思うものである。

なお、八田校長の銅像は母校校長室の入口脇にあり、渋沢氏の銅像は渋沢氏が創設に尽力した一橋大学の同窓会館「如水会館」(千代田区一ツ橋)ロビーにある。

「いい男」小島基男氏逝く
小泉 宗孝 52回

たいへん几帳面で約束は必ず守る。人の役に立つことを進んで引き受けていた。両国高校では私のクラスメートで昭和30年に卒業しサントリー(株)に入社、定年退職の頃は秘書課の責任者を務めていた。淡交会でも同期会でもビールはいつもサントリーを採用しているのは彼の功績だ。52回同期会ではずっと幹事長役をつとめ、年一度の役員会のレジメ、出欠者名簿、便りなどを作成、昭和・平成と50年近く

くの全てを保存していた。今年5月23日、淡交会事務局にご子息から5月7日に逝去したと知らせがあった。私が淡交会長に推薦された平成15年から事務局局長として専従で10年間務めてくれた。ハンドボール部にも入っていて先輩後輩と付き合いも広く知り合いも多く活躍してくれ活き字引きの様で、会のとりまとめもまめにやってくれ、ほんとうにいい男だった。小島基男氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

演奏会を聴き両国ファンに
甲斐 和彦 71

目須田さん、素晴らしい演奏会でした。すっかり両国高校ファンになりました。

錦糸町駅を降り、まずは両国高校を表敬訪問後、演奏会場へ。続々と集まる大観衆に唖然としました。

『牧歌』の和らいだ雰囲気から始まり、校歌5部作なんて他校にはまずない超伝統校を感じさせる勇壮なメロディーは、さしずめ甲子園での応援歌を聴いているようでした。目玉の第九は、指揮者、淡交オーケストラ、淡交混声合唱団、いずれも両国高校が中核となっていること自体、タレントがよく揃ったものだと感心しきりでした。練習で苦

労したメロディーを追いながらすっかり堪能できました。目須田さん、合唱団のご真ん中に陣取っておられました。とても貫禄ありましたよ。

予想外と言ったら失礼になりますが、両国高校の文武両道が半端でないことを実感した充実した半日でした。改めてありがとうございます。

◇

甲斐さんは淡交会監事の目須田善英さん(70回)の友人で共に川崎市の高津市民合唱団に所属。目須田さんに誘われて7月12日の特別演奏会を聴き、その感想を寄稿されました。福岡県立小倉高校、早稲田大学商学部卒業生です。

淡交フィルハーモニー管弦楽団 第72回定期演奏会

日時: 2026年1月25日(日) 14時開演
会場: 江東区文化センター ホール
指揮: 田代 詞生
演奏曲目
コーランド: 市民のためのファンファーレ
G.ガブリエリ: カンツォン第27番、第28番
デュカス: 舞踏詩『ラ・ペリ』のファンファーレ
ジョン・ラター: 弦楽のための組曲
グノー: 9つの管楽器のための小交響曲
シューマン: 交響曲第1番変ロ長調「春」
全席自由 1,000円
※最新の情報はホームページよりご確認ください。

【団員(卒業生)を募集しています】
弦楽器, トロンボーン
※その他のパートも若干名募集しています。
ホームページよりお問い合わせください。
<https://tanphil.net/>

東京成功総合法律事務所 上海市成功綜合律師事務所

しん かい あきら
弁護士 真 貝 曉 (66回)

〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目8番地
半蔵門ハイム301
TEL: 03 (3265) 3357 FAX: 03 (3265) 3358
E-mail: tokyosuccess-lo@mtb.biglobe.ne.jp
URL: <http://www.tslo.net>

紙幣鑑別機・真がん判定装置のパイオニア 松村エンジニアリング



会長 松村喜秀

善と悪は共存できない

〒111-0052 東京都台東区柳橋二丁目1番4号
TEL: 03-6858-6611 FAX: 03-6858-6711

株式会社 松村エンジニアリング
<https://www.matsumura-eng.com/>

松村聖津子 (94回)

弁護士 中里 和伸 (82回卒) 東京暁法律事務所 東京都中央区銀座7-12-5-6F ☎03-3545-3730	公認会計士 税理士 中里 拓哉 (85回卒) 中里会計事務所 東京都中央区銀座1-18-6-4F ☎03-6228-6555
---	--

大原法律事務所 弁護士 大原 義一 (71回) お気軽にご相談下さい。 〒132-0083 東京都千代田区麹町3-1-8 メイゾン麹町1002 TEL (03) 3288-1871 FAX (03) 3288-1873 メールアドレス g-ohara@themis.ocn.ne.jp
--

◇年会費は1口2,000円（1口以上何口でもお受けできます）
 ◇寄付金・奨学金等・海外ホームステイ支援募金は、金額自由です。ご協力お願い申し上げます。
 ◇117回生の皆さま、今年度から先輩の皆さまと同様に年会費の毎年納入をお願い申し上げます。

※第52回以前の回は免除、118回～122回生の方は卒業時に5年分納入済みとなっておりますので表に載せておりません。ご了承下さい。
口座振替で納入している方は954名です。◎会員登録◎退会者除く◎連絡可能数◎物故・住所不明・DM不要・海外在住者除く
※納入率は「納入人数」と「連絡可能数」との割合です。◎会員登録システムを更新中の為フォームを変更しています。


PRINTECK
河北印刷株式会社
 河北治生 (64回)
 〒272-0816 市川市本北方 1 - 9 - 23
 TEL 047 (711) 1124 FAX 047 (711) 1125
 E-mail : kawakita@green.ocn.ne.jp

2025年(令和7年)12月20日発行

発行者
〒130-0022
東京都墨田区江東橋1-7-14
東京都立両国高等学校内淡交会
編集兼発行人 宇田川 雅之

☎03-6284-0801 FAX03-5600-8473
https://tankou-portal.jp/
E-mail: tankouhp@bz04.plala.or.jp

3 締め切り

次号の原稿は令和8年3月20日締め切りとします。

4 送り先

tankouhp@bz04.plala.or.jp
または郵送で事務局宛。

◇

広告のご協力を賜りました会員各位には心よりお礼申し上げます。

よろしくお願い致します。大澤秀利前会長、若菜一仁前事務局長ら66回生の皆さん、長い間有難うございました。

★広報委員会会報部会
宇田川勝明(委員長)

63 吉田 隆
61 河北 治生
64 梓沢 修
72 内本 千晶
79 山本 明仁
87 寺澤 一
70 國馬 隆史(事務局)
70 牧野 忠雄()
77 石田 素美()

Colonial Style Wedding

“お二人”とゲストとスタッフが“ウェディング”という時間を共有する空間

ウェディング&パーティー受付中



Regalo
レガーロ



Casa
カーサ



Cielo
シエロ



Chapel Grande Oración
グランデ・オラシオン

透き通るような白を基調とし、凛とした透明感のある清楚なチャペル。
アーチを描いた天井高は10.5m。
厳かな気分を感じさせる大理石のバージンロードは14m。
やわらかな自然光が降り注ぐ中、
パイプオルガンとグランドハーブの音色がおふたりを祝福します。

Anfelição

アンフェリシオン

1-43-22, Kameido, Koto-ku, Tokyo 〒136-0071

TEL 03-5836-5111

Open 9:00 Close 20:00 <http://www.anfelicion.jp>

第52期卒業 会長 小泉宗孝